

第 18 回 エレクトロヒートシンポジウム (WEB 開催)

開催結果報告書

令和 5 年 12 月
一般社団法人日本エレクトロヒートセンター

1. 開催概要

- (1) 開催期間 令和5年11月1日(水)～11月30日(木)
- (2) 開催方法 WEBによる配信(閲覧URL: <https://jehc-sympo.com>)
- (3) テーマ GX実現に向けて どうする、どうなる? 産業電化
- (4) 主催: 一般社団法人日本エレクトロヒートセンター
- (5) 共催: 日刊工業新聞社
- (6) 後援: 経済産業省、環境省
- (7) 協賛: (一社)エネルギー・資源学会、(公社)化学工学会、(公社)空気調和・衛生工学会、(一社)再生可能エネルギー長期安定電源推進協会、(一財)省エネルギーセンター、(一財)素形材センター、(一社)地球温暖化防止全国ネット、(一社)電気学会、電気事業連合会、(一社)電子情報技術産業協会、(一財)電力中央研究所、(一社)日本印刷産業連合会、(一社)日本機械学会、(一社)日本機械工業連合会、(公社)日本技術士会、(一社)日本金属熱処理工業会、(一社)日本工業炉協会、(一社)日本工作機械工業会、(一社)日本産業機械工業会、(一社)日本自動車部品工業会、(一社)日本食品工学会、日本製薬工業協会、日本製薬団体連合会、(一社)日本鍛造協会、(一社)日本鋳造協会、(一社)日本鋳鍛鋼会、(一社)日本厨房工業会、(一社)日本電気協会、(一社)日本電機工業会、(特非)日本電磁波エネルギー応用学会、(一社)日本熱処理技術協会、(公社)日本冷凍空調学会、(一社)日本冷凍空調工業会、(一社)農業電化協会、(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター

2. 実施内容

(1) 全体

第18回エレクトロヒートシンポジウムは、昨年に続きWEBにより開催することとした。

WEB開催の特徴を生かし、主催者挨拶・開催趣旨、基調講演、特別講演、技術発表を事前収録し、開催期間中オンデマンド配信を実施、技術発表については11テーマ配信。技術展示は、バーチャルブースに48の企業・団体・大学・研究機関が集結。各出展者WEBコンテンツ(PDF)を展示し、資料ダウンロード、動画視聴はじめZOOM面談等を可能とした。

今回新たな企画として、「海外事例特別発表」と第17回開催後の結果報告より各理事・各委員より頂戴したご意見を踏まえ学生等の入場者数を増やすため「エレクトロヒート 業界大図鑑」というコンテンツを追加した。

WEB開催につき、初回、ID(メールアドレス)、PW(任意)を登録すれば、期間中は「お使いの各種デバイスで」「いつでも」「何処でも」「何度でも」視聴、閲覧を可能とした。

(2) コンテンツ

【主催者挨拶・開催趣旨】

「GX実現に向けて どうする、どうなる? 産業電化」

内山 洋司氏(一般社団法人日本エレクトロヒートセンター 代表理事・会長)

【講演エリア】

■基調講演「我が国のGX実現に向けて」

西田 光宏氏（経済産業省 産業技術環境局 GX投資促進室 室長）

■特別講演①「日本自動車部品工業会のカーボンニュートラルへの取組」

内野 剛士氏（一般社団法人 日本自動車部品工業会 業務部 次長）

■特別講演②「電機・電子業界のカーボンニュートラルに向けた取組み」

村井 道雄氏（電機・電子温暖化対策連絡会 議長（三菱電機株式会社 環境推進部 部長）

【海外事例特別発表】

■Industry Carbon Neutrality: Electrification and Indirect Electrification by Hydrogen

Jeffery Preece（Director Net-Zero Resources, EPRI）

【技術発表エリア】

■「環境対応型 新切粉溶解システムの開発」

株式会社広築

■「マイクロ波加熱装置の応用事例とテスト装置の紹介」

ミクロ電子株式会社

■「高周波誘導加熱ろう付け自動化装置による脱炭素化への貢献」

アロニクス株式会社

■「SiC パワー半導体を活用した誘導加熱電源の開発」

高周波熱錬株式会社

■「金型予熱の電化による鋳造ロス削減」

ヤマハ発動機株式会社

■「製鋼用アーク炉設備技術の歩みと最近の動向」

大同特殊鋼株式会社

■「ステンレス鋼/Al 合金異材組み合わせのホットワイヤ・レーザ AM 技術の開発」

三菱電機株式会社／国立大学法人広島大学

■「CO2 排出量最大 90%超カット！ 環境負荷低減に役立つ MVR 型蒸発濃縮装置」

株式会社ササクラ

■「脱炭素に向けた廃熱利用によるヒートポンプ活用事例」

株式会社ダイキンアプライドシステムズ

■「IEA ヒートポンプ技術協力プログラム Annex 58（高温ヒートポンプ）の進捗報告」

一般財団法人電力中央研究所

■「インターネット オブ キッチンプラットフォーム (IoK-PF)を活用した厨房機器管理システムのご紹介」

フクシマガリレイ株式会社

【期間限定特別配信】

■「脱炭素の取り組みを後押し！ 簡易ロードマップの策定とAIを活用した最適制御のご紹介！」

関西電力株式会社

11月1日～7日配信

■「日本のものづくりの革新に貢献するデジタルによるものづくり共創プラットフォーム構築と活用の取り組み」

中部電力株式会社

11月8日～14日配信

■「産業電化のバリアと対応策 ―国内製造業を対象としたアンケート調査―」

一般財団法人電力中央研究所 11月15日～21日配信

■電化(ヒートポンプ)がScope1・2・3に与える影響

～導入診断から補助金活用、CO2～算定・削減計画まで～

ほっとコンサルティング株式会社 11月22日～30日配信

終了した期間限定配信に対して、「見逃した」、「もう一度見たい」などのご要望をいただき、

11月29日～30日の2日間、期間限定配信全4件を緊急配信。

【技術展示エリア】

■バーチャルブース展示企業・団体・大学(48者) ※50音順、敬称略

AIHO、アロニクス、MDI、沖縄電力、加島、カツラギ工業、関西電力、九州電力、高周波熱錬、
国土館大学理工学部 二川研究室、コベルコ・コンプレッサ、ササクラ、四国電力、島田理化工業、
省エネルギーセンター、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、生活デザイン研究所、
第一機電、第一高周波工業、ダイキンアプライドシステムズ、ダイキン工業、谷口ヒーターズ、
中国電力、中部電力ミライズ、テクノカシワ、電気興業、電気事業連合会、電力中央研究所、
東京電力エナジーパートナー、東芝キャリア、東北電力、日本電熱、ヒートポンプ・蓄熱センター、
日立プラントサービス、広築、富士経済、富士電機、富士電子工業、富士電波工機、
富士電波工業、北陸電力、北海道電力、前川製作所、ミクロ電子、三菱重工サーマルシステムズ、
三菱電機、電化厨房ドットコム、日本エレクトロヒートセンター

【エレクトロヒート 業界大図鑑】

■エレクトロヒートについて分かりやすく解説

解説動画等で分かりやすく解説

■エレクトロヒートに関わるお仕事って？

活躍されている若手社員のインタビュー

■ミライをつくるエレクトロヒートの仲間たち

シンポジウム出展企業のリクルートサイトご紹介

(3) WEB 開催の広報強化

第18回エレクトロヒートシンポジウムは新たな企画として「海外事例特別発表」と、昨年度(第17回)結果報告より各理事・各委員より頂戴したご意見を踏まえ学生等の入場者数を増やすため「エレクトロヒート 業界大図鑑」というコンテンツを追加した。

入場登録者数については、昨年の4,261名に対し、今年も5,000名の目標を掲げた。

目標達成に向け、案内リーフレットや過年度開催シンポジウム入場者およびJEHC関係先へのメール配信に加え、共催である日刊工業新聞社と協力した紙面・バナー広告およびメルマガの対象を拡大、プレスリリースによるパブリシティ(新聞、業界紙・誌)への情報提供を行った。さらに、会員企業や電力会社が保有する各地域の顧客リソースを活用し、ホームページへのバナー広告設置やメルマガを活用した積極的な情報発信により、全国的な規模、また開催全期間を通し、エレクトロヒートシンポジウムの広報・告知活動に取り組んだ。

① 案内リーフレット 10,500部 [A4判 両面]、ポスター400部 [A2判] (9/26～配布)

・会員各社、出展者、技術発表者、協賛35団体に配布

広告[半5段] (10/25、11/8掲載)

[illegible][illegible]

広告[半5段] (11/1 掲載)

参考：開催中記事（11/17 掲載）

第18回 エレクトロニクス・シンポジウム

テーマ

GX実現に向けて どうする、どうなる? 産業電化

本シンポジウムは「産業電化」に関する技術・経済・社会の動向について、最新の研究成果や技術動向を共有し、産業電化の推進に向けた議論を行うことを目的としています。また、産業電化の推進に向けた政策や制度の検討を行うことも目的としています。

開催日時 2023年11月1日(水)～11月30日(木)

開催場所 一般社団法人 日本エレクトロニクス産業振興会

参加費 一般参加費：10,000円(税込) 学生参加費：5,000円(税込) 企業参加費：15,000円(税込) 企業代表者参加費：10,000円(税込) 企業代表者参加費：10,000円(税込) 企業代表者参加費：10,000円(税込)

■プログラム

講演会 GX実現に向けて どうする、どうなる? 産業電化 一般社団法人日本エレクトロニクス産業振興会 代表理事・会長 西川 淳史
講演会 産業電化の現状と未来 産業電化推進委員会 委員長 西川 淳史
講演会 産業電化の推進に向けた政策と制度 産業電化推進委員会 委員長 西川 淳史
講演会 産業電化の推進に向けた政策と制度 産業電化推進委員会 委員長 西川 淳史

特別講演 自動車・自動運転の産業電化に向けた取り組み 一般社団法人 日本自動車工業会 代表理事・会長 内田 正樹
特別講演 産業電化の推進に向けた政策と制度 産業電化推進委員会 委員長 西川 淳史

特別講演 産業電化の推進に向けた政策と制度 産業電化推進委員会 委員長 西川 淳史

特別講演 産業電化の推進に向けた政策と制度 産業電化推進委員会 委員長 西川 淳史

特別講演 産業電化の推進に向けた政策と制度 産業電化推進委員会 委員長 西川 淳史

エレクトロヒートシンボ

30日までウェブ開催
学生にも発信

日本エレクトロヒートセクター「GxH」は、内山祥生会長は講演で、パナソニックとトヨタ自動車との最新電気熱技術の最新動向を伝えた。第18回エレクトロヒートシンポジウムを多岐にわたる形で開催して、参加は無料。新企業として、業界の態力を生かせることを目指した。

また、大規模な学生近江に達しており、開場から1分間だけで満員となった。シンポジウムは白紙で開催された。テーマは「GX実現に向けて」(GX実現に向けて)である。

産業電化、内山祥生は、「電力はクリーンで、温室効果ガス削減に貢献している」と述べた。

GX社会の実現期に迫っている」と指摘し、我々が共にこれからの電気熱技術の役割や可能性について考えていこうとした。

学生向けに開設されたエレクトロヒート業界に際しては、関係者には、電気熱技術の詳細や最新のデータがわかりやすい解説、電気企業の若社員、女性エンジニアも参加している。

G X実現、産業電化の役割解説

チャールズ氏は、東北電力が最新の給電設備を導入する高圧送電線入を誇る「フー」を分けて、プラントなどを整備、九州電力は「電気熱技術の活用」をテーマとして紹介した。また、東京電力は「電気熱技術の活用」をテーマとして紹介した。

ヒーターがエネルギーを電気加熱器にする分野にとり、自社技術を約60年間の経験を生かし、生産性を向上させるためのノウハウを利用し、ヒーターの導入事例を紹介した。

工業用ループが、三井物産と大阪大学は「電気熱技術を活用した、アルミニウム合金とステンレス合金を高強度に特長する」技術を紹介している。

④ WEB 広告

日刊工業新聞電子版

(レクタングルバナー 8/1～11/30 配信)



東京商工会議所の会員となり、日本商工会議所のホームページに掲載



JEHC 関連 WEB ページ



⑤ 協賛団体、出展者ホームページ掲載 ※敬称略

- ・日本食品工業会、島田理化工業、富士電機、前川製作所、メトロ電気工業ほか

⑥ 業界紙・誌 広告

- ・工業加熱 11月号 (11/1 発刊)、省エネルギー10・11月号 (9/30、10/30 発刊)、エネルギーフォーラム 11月号 (11/1 発刊)
- ・エレクトロヒート 9・11月号 (9/15、11/15 発刊)

広告紙面



エレクトロヒート 9・11月号



⑦ パブリシティ記事

- ・電気新聞 (10/23 掲載)
- ・熱産業経済新聞 (10/25 掲載)

⑧ メール (メルマガ)

- ・過去および新規シンポジウム入場者等へのメール配信
(5/29、10/2、10/10、10/18、10/25、11/1、11/8、11/15、11/22、11/27、11/29、11/30 : 約 9,200 人)
- ・日刊工業新聞ターゲティングメール (10/25、11/8、11/20 配信 : 約 6 万人)
- ・ものづくり日本会議登録者 (11/1 配信 : 1.6 万人)
- ・地方 (北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、九州) 経済産業局よりメール配信
- ・東京商工会議所の会員となり、全国の商工会への発信

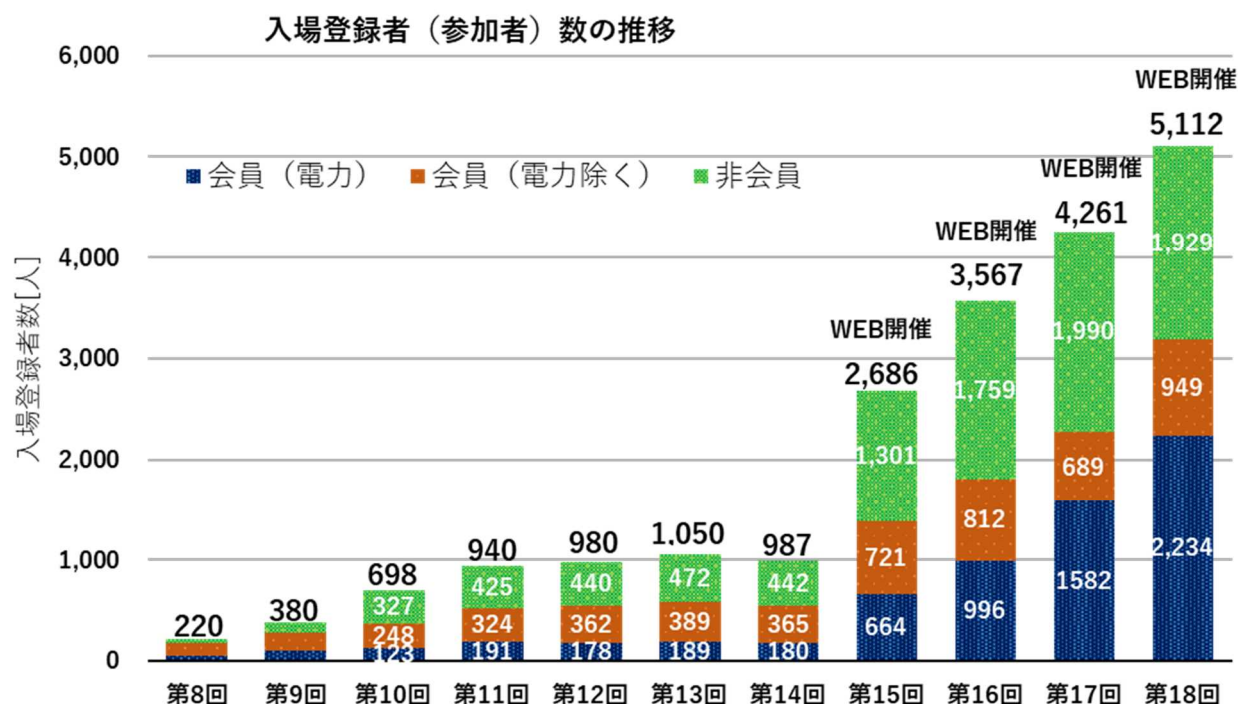
⑨ 学生を中心とした新規視聴者拡大

- ・当センターに関わる先生からの学生への入場登録送付
- ・各電力に関わりのある大学先生からの学生への入場登録送付
- ・学生会員の多い「エネルギー・資源学会」「日本冷凍空調学会」「空調調和衛生工学会」より発信
- ・電事連が運営するパワーアカデミーのホームページサイトに寄稿、その中でシンポジウムを紹介

3. 実施結果

(1) 入場登録者：5,112名（※昨年度：4,261名）

会員（電力）：2,234名、 会員（電力除く）：949名、 非会員：1,929名（うち学生 59）

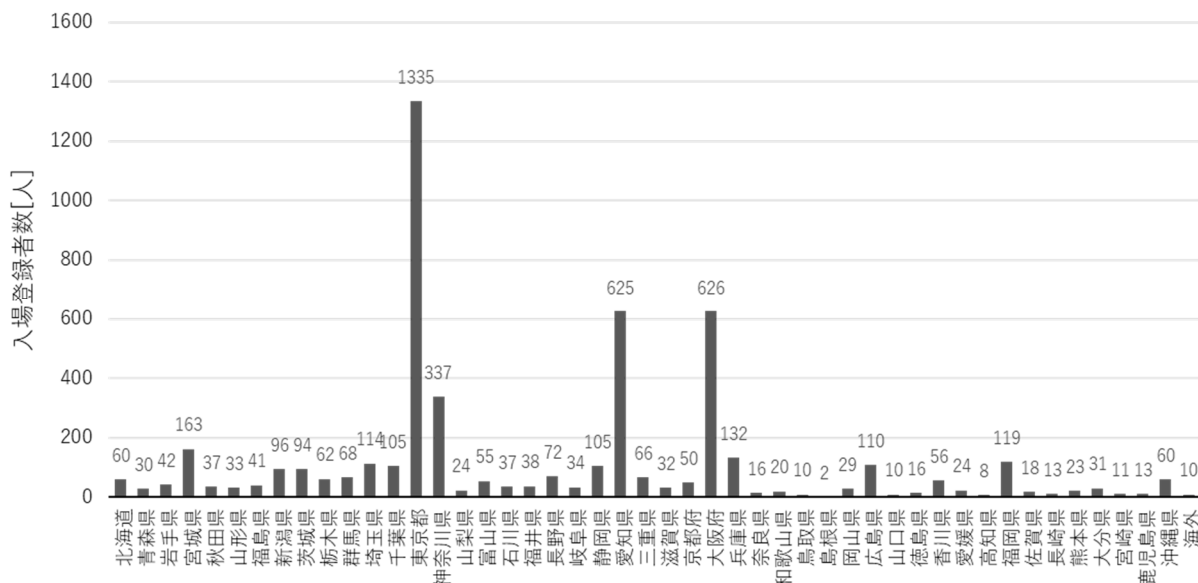


		第 18 回エレクトロヒートシンポジウム		第 17 回	
会員	3,183	949	加熱機器メーカ、HP メーカ、業務用厨房機器メーカ、エンジ会社ほか	689	2,271
		2,234	電力会社	1,582	
非会員	1,929	901	(製造業) アイシン、トヨタ自動車、本田技研工業、マツダ、サントリ、三菱ケミカル、パナソニック、トニティ工業、J F E スチール、A G C、川崎重工業、住友電工、日産自動車、明治、I H I、スズキ、デンソー、三菱マテリアル、三菱重工業、森永乳業、森永製菓、東芝、村田製作所、日立産機、クラレ、旭化成、花王、ライオン、味の素、カネカ、リコー、ダイセル化学、プリジストン、日東電工、日清オイリオ、キヤノン、京セラ、大日本印刷、ジェイテクトほか	1,200	1,990
		14	(医療・福祉・飲食・宿泊) 医療法人篠田好生会、社会福祉法人明翠会、JR 西日本ホテル開発ほか	10	
		11	(金融・投資) オリックス、三井住友ファイナンス&リース、芙蓉総合リースほか	47	
		73	(商社・流通・小売) 双日、極東商会、ダイキンHVACソリューション、守谷紹介、芙蓉ほか	70	
		259	(エネルギー会社・インフラ会社) 東京ガス、大阪ガス、エナジープールジャパン、東日本旅客鉄道ほか	320	
		157	(建設業・建築関連) 竹中工務店、大林組、鹿島建設、清水建設、大成建設、関電工、ユアテック、トーエネック、新日本空調、新菱冷熱、朝日工業社、大気社 ほか	229	
		514	(政府／研究機関／協会／業界団体／大学／その他) 経産省、環境省、NEDO、省エネセンター、電事連、HP 蓄熱センター、富士経済、野村総研、三菱総研、日本商工会議所、東京商工会議所、日本工業炉協会、日本自動車部品工業会、日本電気協会、東京大学、東京工業大学、東京農工大学、京都大学、筑波大学、早稲田大学、慶応義塾大学、奈良高専、苫小牧高専ほか	294	
合計	5,112			4,261	

(2) 入場登録者属性

a. 入場地域 (5,112 名)

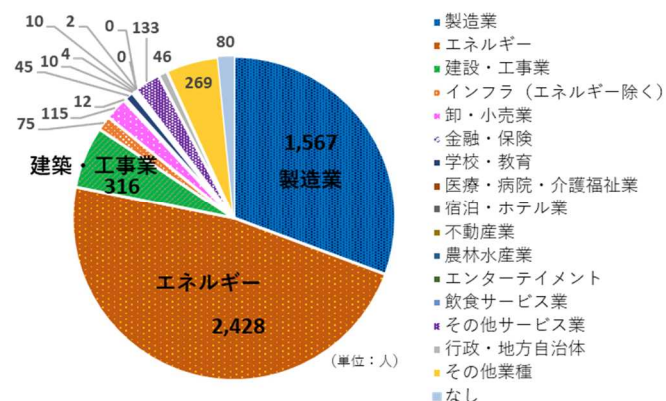
- ・入場登録者は都道府県別では東京都が突出して多い。(1,335 名；約 26%)
- ・全体の約 42%は東京都を中心とする関東圏 (2,139 名)、残りは中部 (902 名)、関西 (876 名)、東北 (442 名) の順に多く、電力会社の拠点地域を中心に登録者の広がりが見られる。



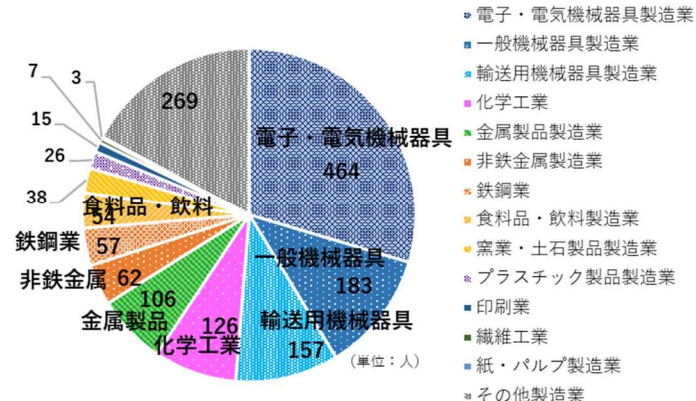
b. 業種

- ・エネルギーと製造業が特に多く、全体の約 78%を占める。エネルギーは会員である電力会社が 90%を占める。
 - ・製造業の内訳を見ると機械器具製造業（電子・電気、一般、輸送用）が半数を占めておりエレクトロニクスへの関心が高いことが伺える。
- 次いで、化学工業（約 8%）、そして金属関連の製造業が続いた。
- ・JEHC 会員数の少ない、建築・工事業、サービス業、卸売・小売業などからの入場者も見られ、脱炭素社会への実現に向けた取り組みについて、幅広い業種が関心をもち、入場に繋がった可能性が考えられる。

(業種別内訳)



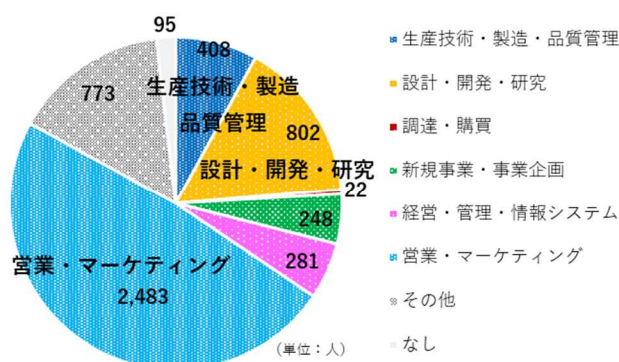
(製造業別内訳：計 1,459 名)



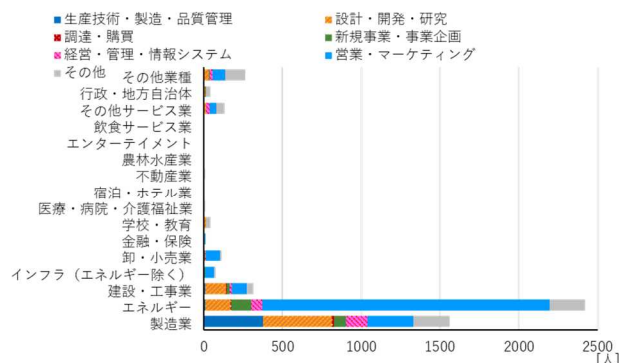
c. 職種

- ・営業・マーケティングが圧倒的に多いが、エネルギー（会員：電力会社）が占める。
- ・生産技術・製造・品質管理は製造業が占める。
- ・設計・開発・研究は製造業、建設・工事業の方々が多くエレクトロニクス技術への関心が伺える。

(職種別内訳)

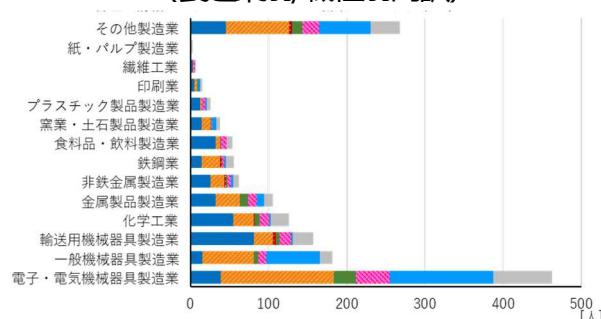


(業種別/職種別内訳)



- ・業種別で2番目に多い製造業について細分すると、会員企業の多い業種の営業・マーケティングが多くなっている。

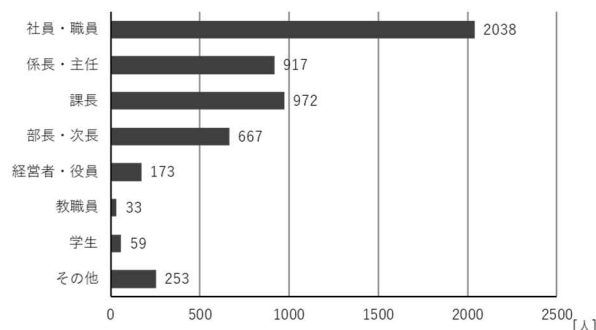
(製造業別/職種別内訳)



d. 職名

- ・WEB開催により、どこからでも入場できるため実務者の方々に多く入場いただいた。
- ・今年度課題として取り組んだ学生や大学をはじめとした教育機関からの入場者は活動の成果がみられ、12名から92名に増加している。

(職名内訳)



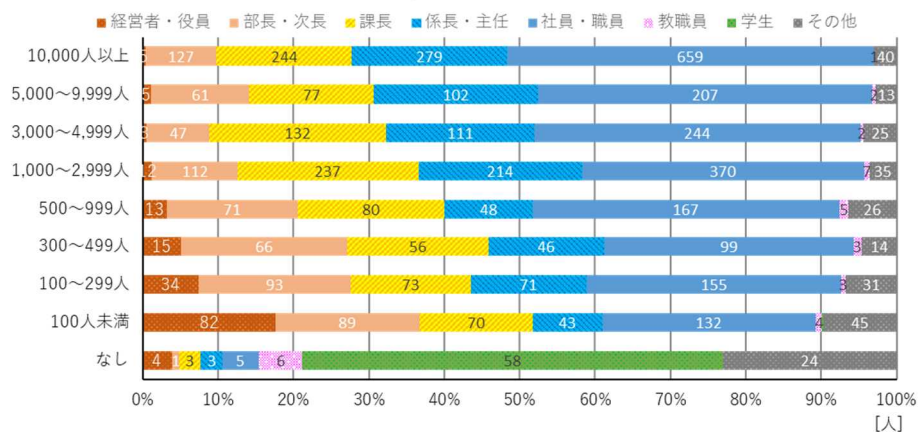
e. 従業員数

- ・従業員数300人未満の企業、大学、団体からの入場者は約2割を占める。
- ・電力会社が多くを占める従業員数10,000人以上を除くと、従業員数1,000人～2,999人の企業が多い。
- ・従業員数毎にD項の職名割合を当てはめると、従業員数が少ない企業ほど経営者・意思決定者自らが入場されていることが伺える。
- ・製造業別では、登録者数が半数を占める機械器具製造業（電子・電気、一般、輸送用）では従業員数10,000人以上の企業が比較的多い傾向である。

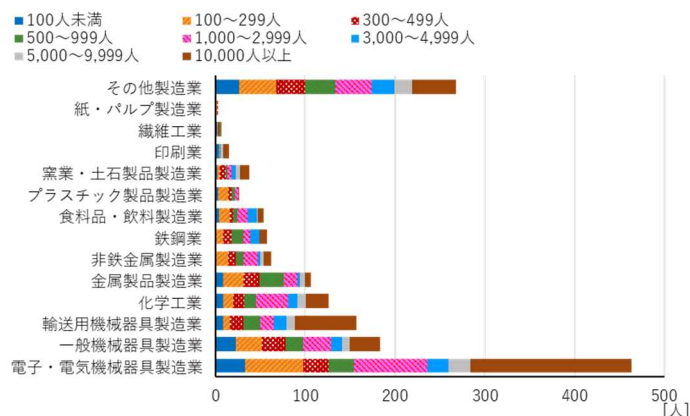
(従業員数/入場者数)

従業員数	入場者数
なし	104
100人未満	466
100～299人	460
300～499人	299
500～999人	410
1,000～2,999人	987
3,000～4,999人	564
5,000～9,999人	467
10,000人以上	1,355

(従業員数別/職名別割合)



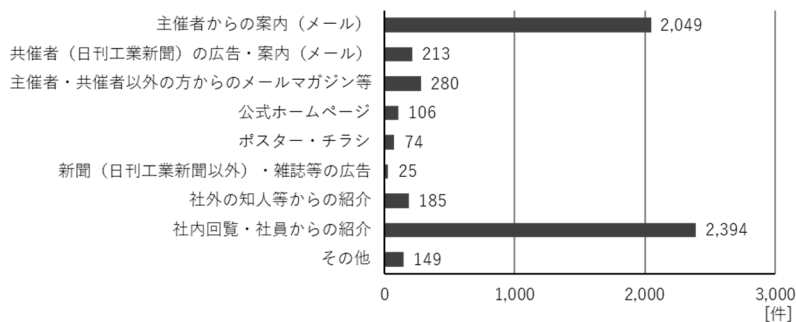
(製造業別/従業員数内訳)



f. 入場のきっかけ、目的

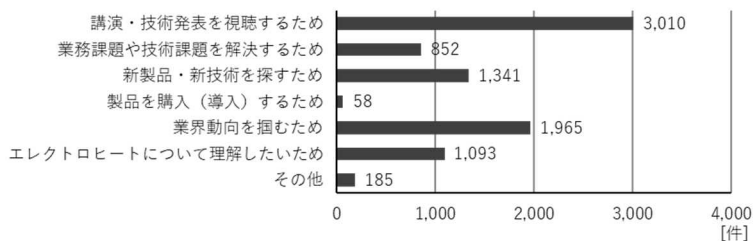
- 主催者からの案内および社内回覧・社員からの紹介が圧倒した。
- JEHC からの案内発信と受けた企業、団体にて関係部署に情報発信、共有された結果と考える。

(きっかけ内訳)



- 目的の内訳を見ると、講演、技術発表の視聴が多く、次いで業界動向を掴むが続く。情報収集の場として大いに期待されていると考える。

(目的内訳)

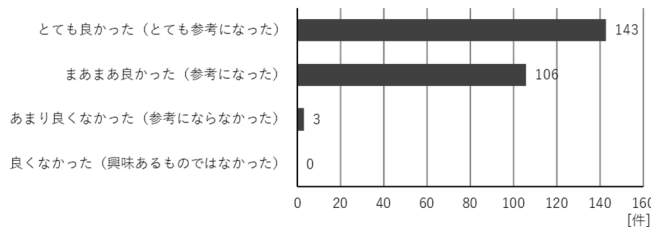


(3) 入場者アンケート回答状況 (回収 252 件 ; 回答率 約 5%)



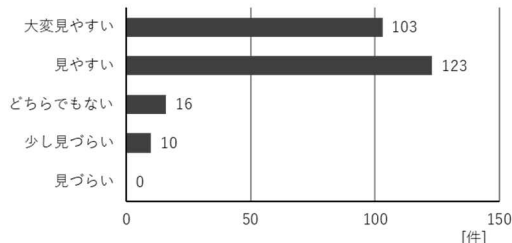
アンケート回答数を増やす目的で、回答者の中から抽選にて「産業用ヒートポンプ活用ガイド」、「ものづくりに電気 Vol 6、7 セット」のいずれかを各 30 名 (計 60 名) に贈呈。

Q. 第18回エレクトロヒートシンポジウムはいかがでしたか。



・ほぼ全て (約99%) の回答が、「とても良かった」、「まあまあ良かった」と好評を得た。

Q. 今回のWEBサイトの作り・構成はいかがでしたか。



・大半 (約90%) の回答が、「大変みやすい」、「見やすい」と評価を得た。

・少数ながら10件「少し見づらい」があった。しかしどの部分が見づらいかのコメントは頂けなかった。

Q. WEBシンポジウムのご感想・ご意見・改善すべき点などがあればお書きください。(自由記述)

[回答数：38件]

【総評】

- ・有意義 (25件) と好評いただいた。沢山の情報を得た、また新たな取り組みも斬新的等、次回もお願いしたいとお礼含めたご意見が散見された。
- ・さまざまな工程の熱源転換の実例を増やして欲しい、出展者に気軽に相談できるとさらに良いのご意見もあった。

【WEB開催】

- ・時間、場所に制約がなく自由に入場できるので良いと評価していただきながら、現実感やビジュアル的にも実感が薄く記憶に残らないとの懸念もあるとのことのご意見もあった。

【WEB構成】

- ・サイトの構成が見やすく、アクセスしやすい。
- ・アンケートも短くまとめられており回答しやすい。

【その他】

- ・期間終了後も動画を見れるようにして欲しい
- ・YouTubeの視聴は社内システムでブロックされており視聴できない。YouTube以外の視聴方法を準備して欲しい。
- ・海外からの入場者から英語資料があればもっといいとのことのご意見。
- ・温度差発電、小型風力等の再生可能エネルギーの供給方法等の情報も欲しい。

4. 事務局総評

- ・5,112名の方に入場登録いただき、メルマガ配信はじめ社内外問わず広くご案内いただいたことが数字に表れている。また昨年度の課題として取組んだ学生等の集客についても成果がみられた。
- 引き続き、各電力会社や会員企業の協力を得ながら、非会員の入場者の一層の積み上げを図っていく。

以上

参考

(案内リーフレット／WEBページ)

WEB開催
参加無料

GX実現に向けて どうする、どうなる？ 産業電化

GX (グリーントランスフォーメーション) とは、化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動のこと。

GX実現を目指す、最新のエレクトロヒート技術「産業電化」の動向をご紹介します。



エレクトロヒート
業界大図鑑
学生も注目!!

第18回

エレクトロヒート シンポジウム

EHS2023

参加無料

2023年

11月1日(水)~11月30日(木)



参加方法(入場登録の際にIDを発行します)

特設WEBサイト入場登録の際に発行するID・パスワードで、開催期間中はいつでもサイトに再入場いただけます。

特設サイト
へはこちら

<https://jehc-sympo.com>

18回エレクトロヒートシンポジウム



特設WEBサイト

講演エリア

- 基調講演:
経済産業省 産業技術環境局 GX投資促進室 室長 西田 光宏 氏
- 特別講演①:
一般社団法人 日本自動車部品工業会 業務部 次長 内野 剛士 氏
- 特別講演②:
電機・電子温暖化対策連絡会 議長 村井 道雄 氏(三菱電機株式会社 環境推進部 部長)

技術発表エリア

各分野の専門家によるプレゼンテーション: 11テーマ
通替わり期間限定特別配信: 4テーマ

バーチャル展示エリア

48の企業・団体・大学・研究機関が集結

主催: 一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター

共催: 日刊工業新聞社

後援: 経済産業省、環境省

協賛: (一社)エネルギー 資源学会、(公社)化学工業会、(公社)空気調和・衛生工学会、(一社)再生可能エネルギー長所安定電源推進協会、(一社)省エネルギーセンター、(一社)東洋材センター、

(一社)地球温暖化防止全国ネット、(一社)電気学会、電気事業連合会、(一社)電子情報技術産業協会、(一社)電力中央研究所、(一社)日本印刷産業連合会、(一社)日本機械学会、(一社)日本機械工業連合会、

(公社)日本技術士会、(一社)日本金属熱処理工業会、(一社)日本工業団地協会、(一社)日本工作機械工業会、(一社)日本産業機械工業会、(一社)日本自動車部品工業会、(一社)日本食品工業会、

日本製薬工業協会、日本製薬団体連合会、(一社)日本鋳造協会、(一社)日本鋳造協会、(一社)日本鋳造協会、(一社)日本鋳造協会、(一社)日本鋳造協会、(一社)日本鋳造協会、(一社)日本鋳造協会、

(特許)日本電磁波エネルギー応用学会、(一社)日本熱処理技術協会、(公社)日本冷凍空調工業会、(一社)日本冷凍空調工業会、(一社)産業電化協会、(一社)ヒートポンプ 基盤センター



一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター
JEHC JAPAN ELECTRO-HEAT CENTER

開催期間中 2023年11月1日(水)～11月30日(木)は、
以下のプログラムをオンデマンド配信いたします! <https://jehc-sympo.com>

WEB開催
参加無料



ご挨拶・開催趣旨	GX実現に向けて どうする、どうなる? 産業電化 内山 洋司(一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター 代表理事・会長)
基 調 演 講	我が国のGX実現に向けて 西田 光宏氏(経済産業省 産業技術環境局 GX投資促進室 室長)
特 別 演 講 ①	日本自動車部品工業会のカーボンニュートラルへの取組 内野 剛士氏(一般社団法人 日本自動車部品工業会 業務部 次長)
特 別 演 講 ②	電機・電子業界のカーボンニュートラルに向けた取り組み 村井 道雄氏(電機・電子温暖化対策連絡会 議長(三菱電機株式会社 環境推進部 部長))
海 外 事 例 特 別 発 表	Industry Carbon Neutrality: Electrification and Indirect Electrification by Hydrogen Jeffery Preece(Director Net-Zero Resources, EPRI)
技 術 発 表	[抵抗加熱] 環境対応型 新切粉溶解システムの開発 株式会社広島 「安全・安心」を設備コンセプトとして開発し、高品質、高歩留まりを実現、脱炭素とSOGsに大きく貢献する新切粉溶解システムのご紹介
	[電磁波加熱] マイクロ波加熱装置の応用事例とテスト装置の紹介 ミクロ電子株式会社 ゴム、食品、セラミックスなど様々な業界で使用されており、カーボンニュートラルや省エネ等でも注目されているマイクロ波加熱装置とその応用事例のご紹介
	[誘導加熱] 高周波誘導加熱ろう付け自動化装置による脱炭素化への貢献 アロニクス株式会社 生産性を高め温室効果ガスの削減に貢献する高周波誘導加熱によるろう付け装置のご紹介
	[誘導加熱] SiCパワー半導体を活用した誘導加熱電源の開発 高周波熱線株式会社 従来品との電源と比べて損失を半減、独自の高周波技術を活用したSiC MOSFETを使用し、省エネ・小型化に大きく貢献した誘導加熱電源装置のご紹介
	[赤外加熱] 金型予熱の電化による誘導ロス削減 ヤマハ自動車株式会社 金型製造業界において重要な技術である金型予熱において、赤外線による電化予熱がもたらす寿命延長と品質改善、さらには環境影響低減への具体的な効果をご紹介します
	[アーク加熱] 製鋼用アーク炉設備技術の歩みと最近の動向 大同特殊鋼株式会社 電気炉製鋼法を支える主要生産設備であるアーク炉の設備技術の発展に著目し、その構造や技術の歩み、近年新たに開発・提案されている省エネ技術のご紹介
	[レーザー加熱] ステンレス鋼/Al合金異材組み合わせのホットワイヤ・レーザーAM技術の開発 三菱電機株式会社/国立大学法人広島大学 特性が悪く溶接がほぼ不可能とされてきたステンレス合金(鉄系合金)とアルミニウム合金の高強度接合を実現した、ホットワイヤ・レーザーAM技術のご紹介
	[ヒートポンプ] CO ₂ 排出量最大90%超カット! 環境負荷低減に役立つMVR型蒸気濃縮装置 株式会社ササクラ 省エネ性の高いMVR型蒸気濃縮装置について、装置の構造、利用用途等をお交えて分かりやすくご説明
	[ヒートポンプ] 脱炭素に向けた廃熱利用によるヒートポンプ活用事例 株式会社ダイキンアプライドシステムズ 生産工程の「廃熱有効利用」、「蒸気レス化」、「エネルギー消費削減」を可能にするヒートポンプ導入のための着目ポイント、導入事例とメリットをご紹介します
	[ヒートポンプ] IEAヒートポンプ技術協力プログラムAnnex 58(高温ヒートポンプ)の進捗報告 一般財団法人電力中央研究所 高温ヒートポンプ技術開発のプロジェクト(Annex 58)の概況、開発・実証の動向と適用可能性のある代表的な加熱プロセスへの統合コンセプトについてご紹介
期 間 限 定 特 別 配 信	[業務用電化厨房] インターネット オブ キッチンプラットフォーム(IoK-PF)を活用した厨房機器管理システムのご紹介 フクシマカサノ株式会社 メーカーの垣根を超えてHACCP管理に必要な厨房機器のデータをクラウドで一元管理する「IoK-PF」の特徴と、その活用による新たなサービスのご紹介
	配信期間: 11/1～11/7 [ユーザー支援] 脱炭素の取り組みを後押し! 簡易ロードマップの策定とAIを活用した最適制御のご紹介! 関西電力株式会社
	配信期間: 11/8～11/14 [ものづくり共創プラットフォーム] 日本のものづくりの革新に貢献するデジタルによるものづくり共創プラットフォーム構築と活用の取り組み 中部電力株式会社
	配信期間: 11/15～11/21 [産業電化のバリエーション] 産業電化のバリエーションと対応策 一国内製造業を対象としたアンケート調査 一般財団法人電力中央研究所
バーチャル展示	配信期間: 11/22～11/30 [電化・廃熱回収の導入支援] 電化(ヒートポンプ)がScope1・2・3に与える影響 ～導入診断から補助金活用、CO ₂ 算定・削減計画まで～ ほっとコンサルティング株式会社
	バーチャル展示48者: AIHQ、アロニクス、MDI、沖崎電力、加藤、カツラギ工業、関西電力、九州電力、高周波熱線、国士大学理工学部 三川研究室、コベルココンプレッサ、ササクラ、四国電力、新田理化学工業、省エネルギーセンター、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、生活デザイン研究所、第一電機、第一高周波工業、ダイキンアプライドシステムズ、ダイキン工業、谷口ヒーターズ、中国電力、中部電力三ライズ、テクノカシオ、電気興業、電気事業連合会、電力中央研究所、東京電力エナジーパートナー、東芝キヤリア、東北電力、日本電熱、ヒートポンプ・蒸気センター、日立プラントサービス、広島、富士経済、富士電機、富士電子工業、富士電機工業、富士電機工業、北陸電力、北海道電力、新潟製作所、ミクロ電子、三菱重工サーマルシステムズ、三菱電機、電化厨房ドットコム、日本エレクトロヒートセンター (50名順)

■お問い合わせ先
一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター
TEL:03-5642-1733 FAX:03-5642-1734 E-mail: sympo@jehc-center.org



一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター
JAPANESE ELECTRO-HEAT CENTER



11月1日(水)~11月30日(木)



ランディングページ

[illegible][illegible][illegible]

会場MAP



基調講演・特別講演エリア

[illegible]

海外事例特別発表

[illegible]

技術発表エリア

[illegible]

期間限定特別配信




期間限定特別配信

1回目 11月1日（水）～11月7日（火）

**脱炭素の取り組みを後押し！
簡易ロードマップの策定とAIを活用した最適制御のご紹介！**

関西電力株式会社

脱炭素ロードマップの策定とAIを活用した最適制御のご紹介

お客さまの脱炭素の取り組みを後押しする2つのサービス「脱炭素ロードマップ」、「SenaSon」のご紹介

▶ ダigest版 ▶ 資料ダウンロード

バーチャル展示出展中 ▶





一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター
JAPANESE ELECTRO-HEAT CENTER

入会はこちら ▶

〒103-0011
東京都中央区日本橋大伝馬町13番7号 日本橋大電ビル6F
TEL：03-5642-1733 FAX：03-5642-1734

Copyright ©日本エレクトロヒートセンター。All Rights Reserved.

バーチャル展示エリア




バーチャル展示エリア

電気加熱 ヒートポンプ エネルギー全般 産業用電気設備 大学・団体・研究機関 出展者50名

 富士電機 富士電機株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般	 三菱電機 三菱電機株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般	 SFC SFC株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般	 LUCY LUCY株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般
 TANIGUCHI HEATERS TANIGUCHI HEATERS株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般	 日立 日立株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般	 富士電機 富士電機株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般	 日立 日立株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般
 ミナト電子株式会社 ミナト電子株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般	 日立 日立株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般	 DHF DHF株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般	 KCN KCN株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般
 Alcon Alcon株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般	 日立 日立株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般	 日立 日立株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般	 NETI DEN NETI DEN株式会社 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般 産業用電気設備 電気加熱・ヒートポンプ・エネルギー全般



一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター
JAPANESE ELECTRO-HEAT CENTER

入会はこちら ▶

〒103-0011
東京都中央区日本橋大伝馬町13番7号 日本橋大電ビル6F
TEL：03-5642-1733 FAX：03-5642-1734

Copyright ©日本エレクトロヒートセンター。All Rights Reserved.

バーチャル展示ページ（出展ページ）




バーチャル展示ページ（出展ページ）

電気加熱 ヒートポンプ エネルギー全般 産業用電気設備 大学・団体・研究機関 出展者50名

大学・団体

一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター
JAPANESE ELECTRO-HEAT CENTER

産業電化が導くカーボンニュートラルの未来

センター案内 エレクトロヒート情報 製品情報 行事案内 出版案内 お問い合わせ

「エレクトロヒート」へのINVITATION

抵抗 マイクロ波高周波誘電 誘導 赤外・遠赤外線 アーク・プラズマ ヒートポンプ 電化厨房

YouTubeチャンネル お知らせ イベント・セミナー センターご紹介

会員一覧 会員向けサービスのご案内 事務局へのメールはこちら

塗装・乾燥工程への電気エネルギー活用ガイド（無料公開！） touch me

エレクトロヒートPR動画 モノづくり現場（日本経済新聞） ものづくりに電気（日本経済新聞）

電化厨房ナビ 産業用ヒートポンプ.COM 2022年度産業用ヒートポンプ導入促進報告書

Copyright ©日本エレクトロヒートセンター。All Rights Reserved.

お問い合わせ

どのようなことでお役にになりましたか。

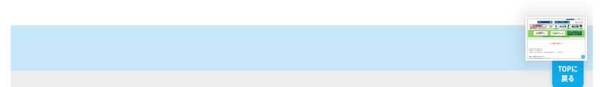
項目を選択してください。複数選択できます。

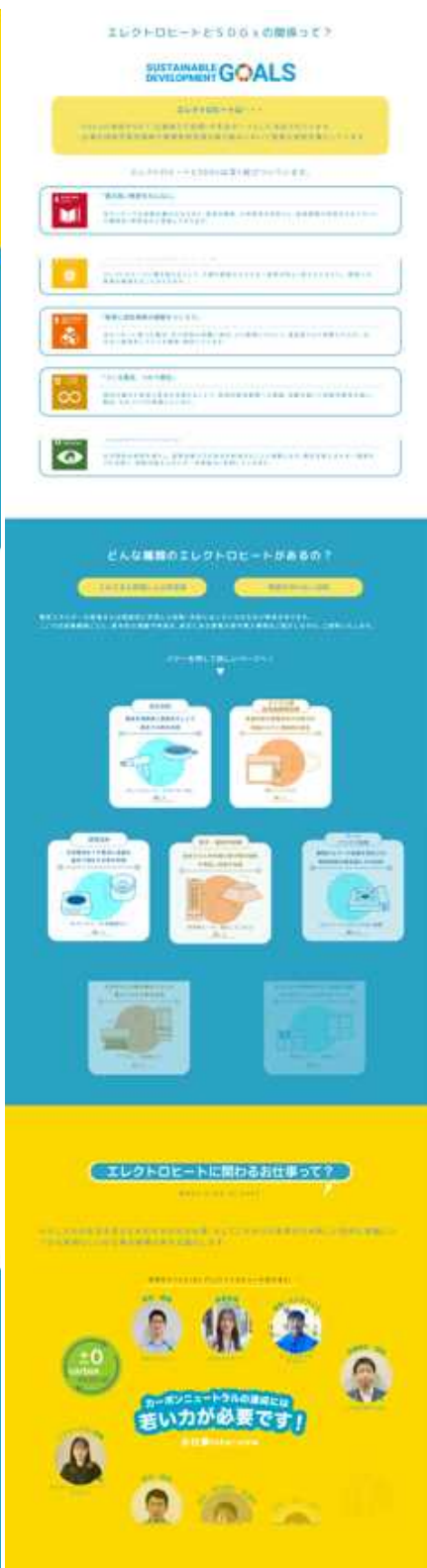
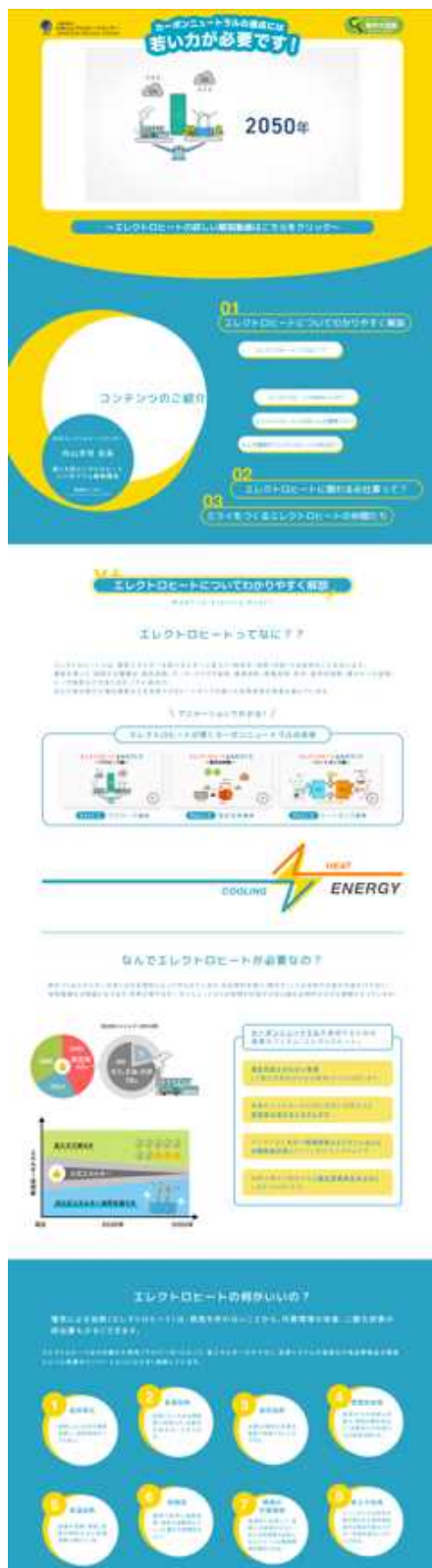
☐ 情報収集 ☐ 製品、活動に関心がある ☐ 製品導入や活動参加を検討している ☐ 挨拶 他目的

お問合せ、ご質問などご自由にご記入ください。

どのようなことでも結構です。後日担当からお答えさせていただきます。

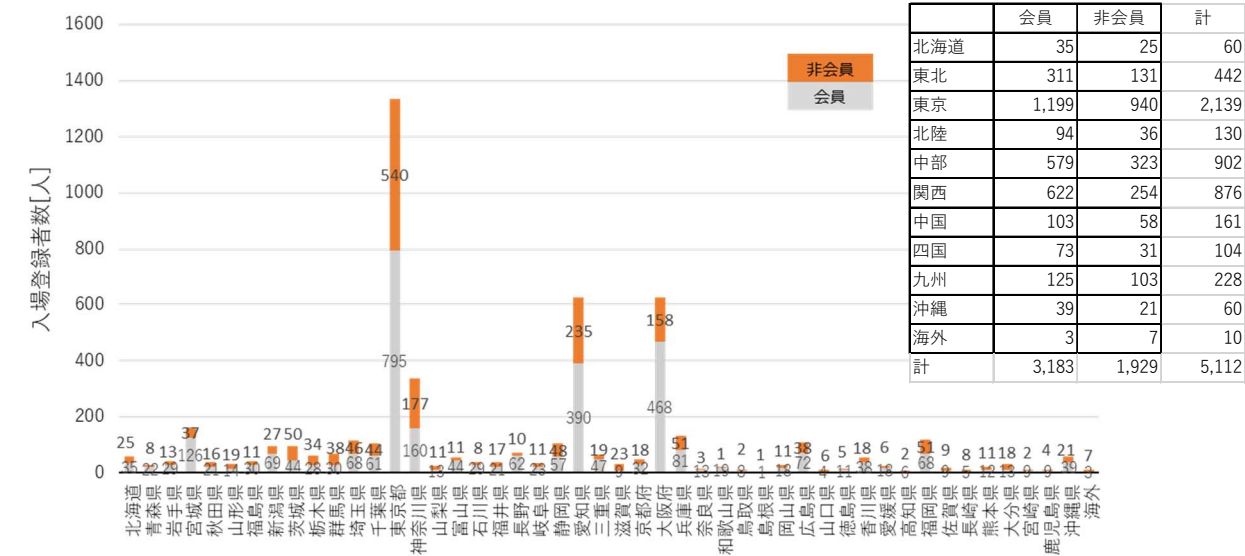
送信する





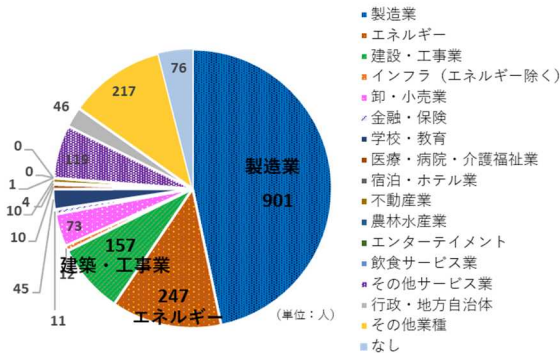
参考：非会員の入場登録状況

a. 入場地域

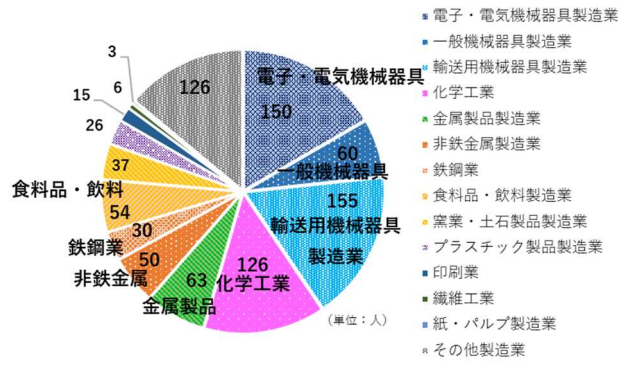


b. 業種

(業種別内訳)

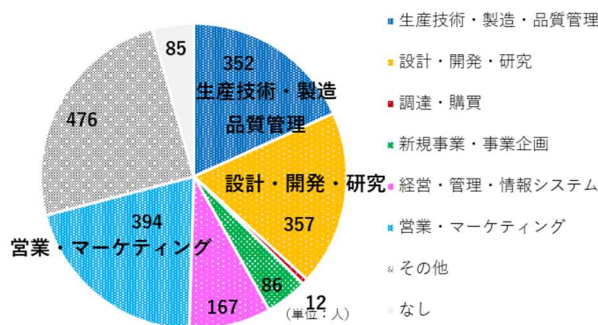


(製造業別内訳：計 901 名)

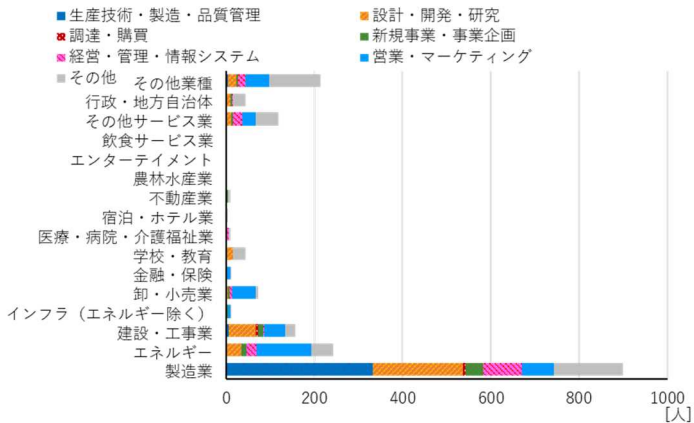


c. 職種

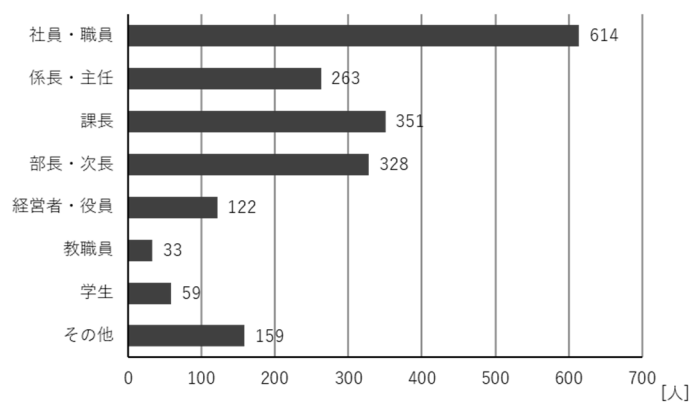
(職種別内訳)



(業種別/職種別内訳)



d. 職名



e. 従業員数

従業員数	入場者数
なし	94
100人未満	353
100～299人	312
300～499人	178
500～999人	230
1,000～2,999人	298
3,000～4,999人	119
5,000～9,999人	102
10,000人以上	243

